

2023 年月 4 日 5 日（水）に開催いたしました。

2 名の方がいらっしゃり、薬剤師が相談に対応しました。
ご来局いただきありがとうございました。

他科受診によるお薬の在庫確認

定期の内服薬を遠方でいただいている A さん。自宅近くの病院で薬をもらえるようにしたいとのご相談がありました。定期薬なので薬の数も多く、処方医が変更になるため、前もって先生に相談して検査やお薬を出せるかを確認した方が良いことを伝えました。後日、処方箋をもって来局されお薬手帳と確認しながらお薬をお渡しすることができました。

他科受診によるお薬を一元化し、かかりつけの薬局にお薬をお願いするように言われています。お薬の重複や相互作用が確認できるからです。今回のように併用薬と認識されていたお薬が同じ薬局で出してもらうことで、先生にも残薬やこうしたお薬の飲み合わせで相談しやすくなることもありますね。



薬の副作用などの確認

定期薬の他に、他病院からお薬をもらっている B さん。これまでにお薬による副作用のご経験もあって、お薬の相互作用、重複や食品とのお薬の飲み合わせなどご自身でよく勉強されています。今回、初めての病院を受診し初めてのお薬をもらったとのこと。併用薬やお薬による副作用歴を先生にお伝えする必要性がありました。ご本人もぜひ知らせて欲しいとのことから医師にお手紙を出したケースです。

今の薬局には多機能を有した薬局があります。「かかりつけ薬局」「地域連携薬局」などがそれに該当しますが、掲示が目印となります。積極的に他科受診の方、介護などでお困りごとなど、多職種（医師、看護師、介護士など）と連携してご相談にのります。もちろん情報を提供するにわたってお金がかかる内容もありますが確認しながら相談できます。お薬などでご心配事があるときには、相談してみてください。



中央薬局では、災害や新興感染症の発生時など、行政や地域の医療機関と連携して、医薬品供給や衛生管理に係る対応ができる体制を確保するように努めています。